

この痛みが愛を狂わせる

14才のヘレン、23才のマーティン 愛を交わすには幼すぎた

I Want You

アイウオントユー

イギリス映画界の鬼才マイケル・ウィンターボトムが贈る衝撃的で美しい愛の物語

POLYGRAM FILMED ENTERTAINMENT Presents a REVOLUTION FILMS Production "I WANT YOU" RACHEL WEISZ ALESSANDRO NIVOLA LABINA MITEVSKA LUKA PETRUSIC

Original Music by ADRIAN JOHNSTON Original Songs by RARE Casting by SIMONE IRELAND and VANESSA PEREIRA Costume Designer RACHAEL FLEMING

Production Designer MARK TILDESLEY Director of Photography SLAWOMIR IDZIAK Editor TREVOR WAITE Screenplay by EGIN McNAMEE

Associate Producer GINA CARTER Executive Producer STEWART TILL Produced by ANDREW EATON Directed by MICHAEL WINTERBOTTOM

©1998 PolyGram Filmed Entertainment, Inc. All Rights Reserved

レイチェル・ワイズ アレッサンドロ・ニヴォラ ルカ・ベトルシク ラビナ・ミテフスカ

監督:マイケル・ウィンターボトム 脚本:ユアン・マクナミー 撮影:スラヴォミール・イジャク 音楽:エイドリアン・ジョンストン 衣装:レイチェル・フレミング

■1998年第48回ベルリン国際映画祭特別賞受賞 1998年イギリス/ポリグラム・フィルムド・エンタテインメント提供/リヴォリュション・フィルムズ作品

提供:アスミック・エース エンタテインメント/配給:アスミック



あなたの声が聞きたい

～この世の果ての港町で繰り広げられる美しく衝撃的な愛の物語～

I Want You

アイウォント ユー

1998年イギリス/ポリグラム・フィルムド・エンタテインメント提供/リヴォリューション・フィルムズ作品/1時間27分/カラー/スコープ/ドルビーSRD/日本版字幕:松浦美奈/提供:アズミック・エース エンタテインメント/配給:アズミック

■1998年第48回ベルリン国際映画祭特別賞受賞

監督:マイケル・ウィンターボトム/脚本:ユアン・マクナミー/撮影:スラヴォミール・イジャク/音楽:エイドリアン・ジョンストン/衣装:レイチェル・フレミング

出演:レイチェル・ワイズ/アレクサンドロ・ニヴォラ/ルカ・ペトルシク/ラヒナ・ミテフスカ/ジェラルディン・オラウ

*イギリス映画を代表する マイケル・ウィンターボトム監督の待望の最新作

映画ファンの注目を浴び続けるイギリス映画界を代表する監督といえば「トレインスポッティング」のダニー・ボイルとマイケル・ウィンターボトムが挙げられる。「日陰のふたり」「GO NOW」「バタフライ・キス」「ウェルカム・トゥ・サラエボ」と立て続けに全作が公開されたウィンターボトム。懐の広いヴァリエティに富んだモチーフ、独特なアプローチ、力強い映像と異化効果の高い音楽表現で描いた映画群で映画ファンを賛否両論の渦に巻き込んできた。そんなウィンターボトムの待望の最新作が「アイ ウォント ユー」である。



*海辺に朽ち果てた船が並ぶ… かつては栄華を誇った港町ヘイヴン

マーティンは9年ぶりに帰ってきた。14歳の恋人ヘレンと情交中に彼女の父親にみつかり、彼を殺害して服役していた。保護観察中の彼が思わぬ記憶の源である故郷に帰ってきたのは、ヘレンに再会するためだった。23歳となったヘレンは今でもヘイヴンに住み続け美容室で働いていた。一方、そんな彼女を追いかけている難民の少年ホンダがいた。ホンダは母親の自殺に直面して口をきかなくなり、姉スモーキーと一緒にヘイヴンに流れてきた。唯一の楽しみは、町に溢れる様々な会話を盗聴してコラージュし、再生する事だった。そして、自転車に乗ったヘレンとぶつかって以来、あこがれの対象となったヘレンの周りの音を集めている。マーティンがヘレンの眼前に再び現れたのは、そんな時だった。

*ひとつの物語の終わりは新たな物語の始まり

コミュニケーションや愛の様々な形を描いてきたマイケル・ウィンターボトム。本作では今までの諸作とは違ったアプローチを見ている。映画は、決して眠らないホンダのモノログで始まる。9年前の事件、帰ってきたマーティン、レコーダーを持って走り回るホンダ、ぶつかって出会うヘレンとホンダ。観る者を異世界へと誘う、滑らかなモンタージュによる美しく強烈な映像。仮出所中のマーティン、美容師として働く23歳になったヘレン、盗聴マニアで口をきかない少年ホンダ、誰でも寝るホンダの姉スモーキー、そしてホンダの母が語るテープはお伽話「眠り姫」。ホンダの眼=カメラを通してストーリーは紡がれていく。傷を負った登場人物たちは交わり、語られていなかった事実が浮かび上がる。それぞれの思いがすれ違いながら成長して映画は決壊点を迎える。ひとつの物語の終わりは新たな物語の始まり。映画の終わりとともにもう一つの物語が始まる。この新しい愛の形を描いた美しく衝撃的な物語は、現代に生きる我々観客の胸に刻みこまれる。ウィンターボトム監督の新たな意欲作である。



*イギリス映画を支えるスタッフと 清新な俳優たちのコラボレーション

複雑なヘレン役を好演したのは「魅せられて」、「チェーン・リアクション」で注目され、肉感的な唇と愛いを含んだ視線が魅惑的なレイチェル・ワイズ。14歳から23歳までの映らない時間の経過を表現して将来が楽しみな若手実力派女優である。マーティンには「フェイス・オブ」でニコラス・ケージの弟役を演じたアレクサンドロ・ニヴォラ。ヘレンを求めることしか残されていないマーティンを見事に演じて期待に応えている。狂言回しの難役ホンダ少年をルカ・ペトルシクが独特な存在感で演じた。ホンダの姉スモーキーには「ピフォア・ザ・レイン」で端々しい演技を披露したラヒナ・ミテフスカ。

脚本はアイルランドで活躍する作家、ユアン・マクナミー。撮影は「トリコロル/青の愛」などポーランドを代表する撮影監督であり、「ガタカ」などで国際的に活躍しているスラヴォミール・イジャク。本作でも魅惑的な映像を駆使、撮影対象でベルリン映画祭特別賞を受賞している。衣装は「トレインスポッティング」のレイチェル・フレミング。音楽はウィンターボトム組のエイドリアン・ジョンストン。編集もウィンターボトム作品を手掛けるトレヴァー・ウェイト。製作はウィンターボトムのパートナーであるアンドリュー・イートンが、二人で作った制作会社リヴォリューション・フィルムズで担当している。

また、主題歌はエルヴィス・コステロの「I WANT YOU」が全編にわたってフィーチャーされている。監督自らがこの歌を聴いて本作を作ろうと思っただけに、作品の空気を見事に醸成している。



1月15日(祝)より愛と衝撃の新春ロードショー

特別鑑賞券発売中 ペア券¥2,800(お二人で) 一般券¥1,500(当日一般¥1,800の処)

オリジナル・ポストカード付前売券発売中(劇場窓口のみ)

シネスイッチ銀座

銀座4丁目交差点
和光ウラ通り
03-3561-0707

11:00	1:00	3:00	5:00	7:00
-------	------	------	------	------

横関内アカデミー

JR関内駅北口
ヤマギワ前
045-261-8913

11:00	1:00	3:00	5:00	7:00(金曜のみレイトショー9:00)
-------	------	------	------	----------------------